

がんばる地域の取組み紹介



団地単位での支え合い活動

	団体名	リベラルーツ葉さんさんクラブ
	住所	宮崎市小戸町
	問合せ先	28-4466 (会長宅)
	参考情報	クラブ立ち上げ9年目 120戸、約500名居住のマンション 60歳以上が89名

きっかけは

住民の声をもとにさんさんクラブを結成したが、立ち上げ当初はエレベーターに乗っていても挨拶もない状況であった。まずは、挨拶による「顔見知りの関係づくり」を始めたところ、見守りや生活支援など様々な取組みが徐々に広がり、9年経った今、住民同士のつながりが非常に強くなっている。

活動状況

会員相互で顔の見える関係をつくり多様な支え合いを実施!

<週1~2回の見守り訪問>



1人暮らしや70歳以上夫婦の方を対象に、週1~2回の見守り声掛けを実施。

<日常生活の援助>



蛍光灯の交換等の日常生活援助や、買い物・病院への送迎等の外出援助も実施。

定期的な交流の場(例会・学習会等)を設けることで、介護予防にも繋がっている。

取組みの始め方

必要なのは住民の気持ちと少しの手続き!

- ①自治会を中心に団地内での話し合い(支え合いのグループを立ち上げたい)
- ②15名以上のメンバーを集め、会長等を決め、さんさんクラブにグループの立ち上げを申請
- ③活動をスタートし、立ち上げ経費(初回)と運営経費(毎年)の補助を受ける
- ④クラブの話し合いの中で、若い会員を中心に支援活動をスタート

インタビュー

リベラルーツ葉さんさんクラブ会長 上野 和彦さん

年齢に関係なく「元気な人が、困った人に少しだけ手を貸してあげる」ことで助かる人が増え、会員同士のコミュニケーションも深まっています。



マンション住民(さんさんクラブ会員)のみなさん

クラブの良いところは友達になれるところですね。気軽に相談もできますし。みなさん集まって、和気あいあいと暮らしています。